

74新破天荒



謹賀新年

令和五年卯年が明けました。七十四回生の皆さん、保護者の皆様、明けましておめでとうございます。本年は、中心学年として姫路南高校を引っ張る存在となります。

ありきたりですが、「一年の計は元且にあり」です。自分に対しての決意、自分の想いに対して嘘がないよう、新たな一年をスタートさせましょう。

生徒の皆さんには十一月に行った進路調べの表面コピーを、二学期終業式前後に担任から渡されたと思います。勿論、自分が書いたことの確認をもらいたいこともあります。それ以上に家庭で自分の将来の夢に対して、保護者から良きアドバイスを頂いたり、この先で心が折れそうになったりした時に応援してもらえる材料になればと、保護者の方にも目にもらえるように渡して頂きました。必ず保護者の目に触れるようにしてください。

保護者の皆様へ

二学期終わりに、学校評価アンケートに関しての回答を依頼しました。年の瀬を前にお忙しい時期にも拘わらず、回答を頂きありがとうございます。概ね、本校の教育活動にご理解を頂きありがたいです。それらの回答に甘えることなく、生徒の姿を思い浮かべて、これからは生徒とともに成長の歩みを進めていきたいと思えます。

また、叱咤激励のご意見も学年としてはありがたいことで、きちんと耳を傾けます。与えられた時間の中でご理解、ご協力が得られるよう努力し、改善するべきは改善に努めていきます。今後とも、本校の教育活動に対して、応援・支援を頂けますように、また、お子様の成長・可能性を見守って頂けますよう、よろしくお願いいたします。



学年の先生から



様々なことを『育』む一年に	荒内 秀明
そのためには『健』やかで	井上 三帆
苦しくても『前』を向いて	押切 孝雄
経験を『引き継ぎ』ながら	渡会 雄士
揺るぎない『芯』の強さで	名村 香織
自分の心を『信』じ抜いて	寺脇 響彦
七十四回生が『一』致団結	大谷 睦美

して、本当の自分の可能性に気付くことができるように、二〇〇名それぞれが自分の歩くべき道を育む一年でありますように。

卯年 睦月の予定

- 十日(火) 始業式 課題考査
- 十一日(水) 課題考査 (午前中で放課)
- 十二日(木) 進路希望調査 (時間割は課題一覧で確認)
- 十四日(土)～十五日(日) 大学入試共通テスト (二年後はみんなの番だ！)
- 十六日(月)～三年午前中授業
- 十七日(火) 教育相談
- 二十日(金) 総合学力テスト

如月の予定

- 一日(水) 教育相談
- 十一日(土) 建国記念日
- 十四日(火) 特色選抜入試準備
- 十五日(水) 特色選抜入試
- 二十日(月) 特色選抜入試合格発表
- 二十一日(火) 学年末考査第一日目
- 二十二日(水) 学年末考査第二日目
- 二十三日(木) 学年末考査第三日目
- (注意) 天皇誕生日の代休は三月に
- 二十四日(金) 学年末考査第四日目
- 卒業式準備・大掃除
- 二十七日(月) 学年末考査最終日・卒業式予行
- 二十八日(火) 卒業式

散歩道 74 クラスコード 5luczkw
 Start 23 → Nov +3 (26)
 → Dec +10 (36) Now 40

年末の七十四回生の活躍

二学期終業後に届いた部活動活躍のニュースです。若い力の経験は貴重です。今回は、本人達に大会の報告を依頼する暇がなかったので、結果の報告を先にします。

女子バレーボール部

後期西播総合体育大会

兼 新人大会西播予選

(十二月二十五日(日)～二十七日(火))

兼 新人大会西播予選
第一位 県大会出場
優秀選手 大橋 萌花(一年五組)

二十六・二十七日に本校会場で行われた試合を見学に行きました。残念ながら、本校の試合を観ることは叶いませんでしたが、補助員として競技運営に携わっている本校部員や、次の試合の準備をしている本校チームの様子は目にする事ができました。加えて、尼ヶ塚先生や他校と一緒に仕事をさせて頂いた先生方とも歓談することができ、私にとって楽しい時間を共有させて頂きました。

まずは、バレーボール部の皆さんおめでとう。県大会でも活躍を期待しています。

空手道部

第四十二回近畿高等学校空手道大会

(十二月二十五日(日)～二十七日(火))

男女とも団体が健闘しました。

出場権を得ること、経験から次への想いや課題を掴むことができたと思います。期待しています。

今月の。。。。の勧め

五月	「無駄」
六月	「諦めない」
七月	「捨てる」
一学期末	「チャレンジ」
九月	「さかのぼる」
十月	「テレビ」
十一月	「大空闊」
十二月	「無」
二学期末	「こだわり」
一月	「信念」

年明けに二つの会に参加する機会がありました。一つは先輩の方々と時間を共有し、もう一つは若い人たちとの時間を共有しました。

一つは、大半が七十歳を超えられた方々でしたが、会話と言うよりも指導的な発言が増える今日この頃、久し振りに姿勢を正して話を聞かせて頂きました。人生の先輩方の揺るぎない信念のもと、お話をさせて頂けることは、つい妥協をしようとしてしまう自分への戒めになる機会でした。

改めて、『一年の計』の言葉の意味を考えさせられる機会でした。

もう一つは、若い人達が失敗を恐れることなく、困難に挑戦する姿から、数多くの勇気をもらうことができ、ともすれば失いかけることもある仕事への責任感や情熱を持ち続け、「信念」を持ってやり抜かねばと誓った機会でした。

「何故そう思えたか？」それは、強弱の差はありませんが、「あのとき」の「この意味」が「分かった」、「分かるよう」になった、こう「話した」という話

を沢山もらえたことであったり、「これ」が自分には「ターニングポイント」となったと、嬉しそうに話すグループに触れたり、「また次の機会にも楽しみにしておいてください」という言葉を幾つももらえたことは、改めて勇気をもらうことができました。

「やって良かった」、「信念を持ってやり続けてきて良かった」、この先いつでもそんな話ができるように、「これからもやっていこう」と思えた、ある意味で大きなお年玉をもらえた瞬間でした。ある人が言っていました。

途中でやめれば失敗と呼ぶ

成功するまでやれば成功で終わる

さあ皆さん。自分の目指すものに対して、信念を持って努力をしてみませんか。一生懸命であれば、一生懸命になればなるほど、獲得欲と、それとは逆の、上手くない悩みの狭間で考える機会を増やすことができます。

自分が本気で向かい合っている方の一言は、大きな根拠に基づいて語られるものです。信じるか信じないか、行動するか行動しないかは皆さん次第です。そんな日々も、面白いものですよ。

年賀状の文化

世の中で虚礼廃止が叫ばれて、随分になります。考え方は人の数だけありますから、この機会に自分はどう考える？という話題にしてみてください。

世の中は恐ろしいほど便利になった分、自らの手、自らの頭を経由する必要がなく、年賀の挨拶のアイテムを一つの商売となってしまう所があります。名刺交換のような年賀状も増えた結果が、

「虚礼」

となってしまうのかもしれませんが。

ただ、年が明けて七十四回生からの「嬉しかった」と言う言葉を沢山開けたことは、些細なことの積み重ねの大切さを、皆さんから改めて教えられた機会にもなりました。ありがとうございます。

一見無駄と思えることも、捨てたものではないですよ。押しつけはいけません。

お知らせ

三学期早々に、修学旅行についての報告をさせて頂きます。まずは一報まで。

それでは改めて、七十四回生に関わり頂くすべての皆さん、

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

